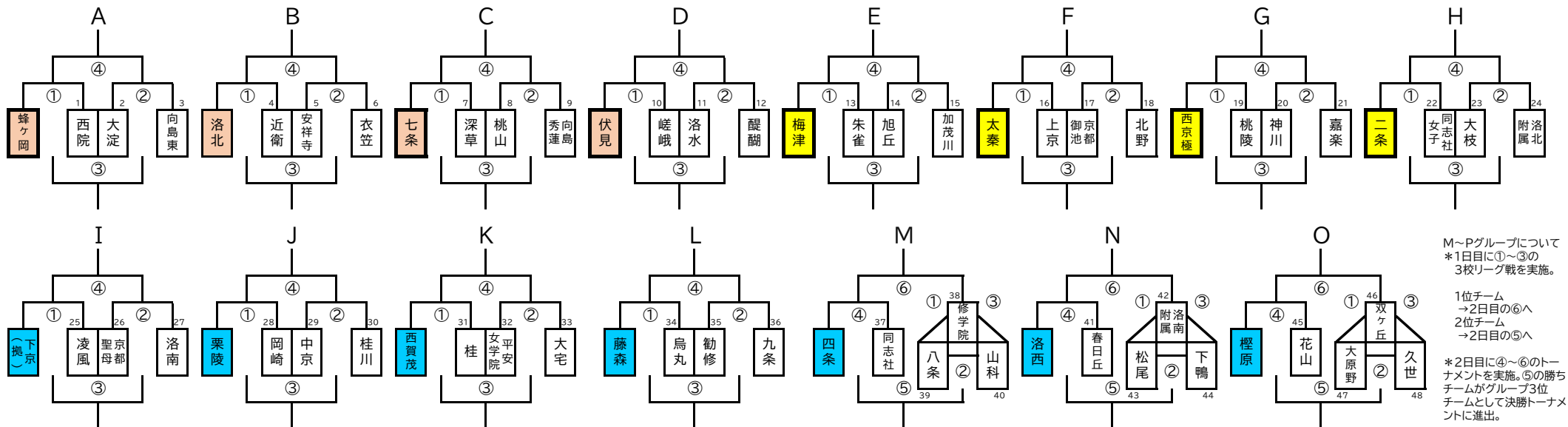


令和7年度 京都市中学校秋季新人大会(バレーボール競技) 予選グループ戦

女子 *夏季大会のベスト16をシードとする。M～Pは2日間開催。各グループ、3位までが決勝トーナメントに進出。



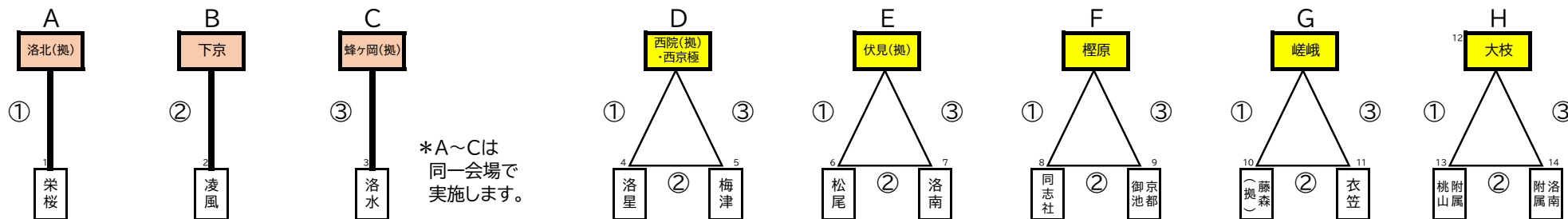
M～Pグループについて
*1日目に①～③の3校リーグ戦を実施。
1位チーム → 2日目の⑥へ
2位チーム → 2日目の⑤へ
*2日目に④～⑥のトーナメントを実施。⑤の勝ちチームがグループ3位チームとして決勝トーナメントに進出。

予選会場一覧表 **女子**

1日目				2日目			
A	10月13日	会場	蜂ヶ岡 中学校	G	10月13日	会場	桃陵 中学校
B	10月5日	会場	洛北 中学校	H	10月11日	会場	二条 中学校
C	10月12日	会場	七条 中学校	I	10月12日	会場	洛南 中学校
D	10月13日	会場	伏見 中学校	J	10月11日	会場	栗陵 中学校
E	10月5日	会場	梅津 中学校	K	10月11日	会場	西賀茂 中学校
F	10月13日	会場	太秦 中学校	L	10月12日	会場	藤森 中学校
				M	10月5日	会場	修学院 中学校
				N	10月11日	会場	下鴨 中学校
				O	10月4日	会場	大原野 中学校
				P	10月11日	会場	西ノ京 中学校
					10月13日	会場	東山泉 小中学校

※初日の会場校の顧問の先生は、2日目の会場校の顧問の先生に勝ち上がった2チームの学校名を連絡してください。

男子 *夏季大会のベスト8をシードとする。各グループ2位までが決勝トーナメントに進出。



*A～Cは同一会場で開催します。

予選会場一覧表 **男子**

ABC	10月12日	会場	凌風 小中学校	E	10月11日	会場	洛南 中学校	G	10月13日	会場	藤森 中学校
D	10月12日	会場	西院 中学校	F	10月13日	会場	樫原 中学校	H	10月13日	会場	大枝 中学校

令和7年度 京都市秋季新人大会(バレーボール競技) 予選グループ戦 審判の割り振り

男子予選 A～Cグループ

- *第1試合【主審・副審 第3試合の両顧問】【補助役員(線審4名・得点2名・IF2名) 第3試合の両チーム】
- *第2試合【主審・副審 第1試合の両顧問】【補助役員(線審4名・得点2名・IF2名) 第1試合の両チーム】
- *第3試合【主審・副審 第2試合の両顧問】【補助役員(線審4名・得点2名・IF2名) 第2試合の両チーム】

男子予選 D～Hグループ

- *補助役員(線審4名・得点2名・IF2名)を空きチームですべて補う。主審・副審は、顧問が行う。顧問が複数人いない場合は、副審を生徒で補う。
- *各試合終了後、ストレートは10分間、フルセットは15分間コートを開ける(コート外でランニング・ストレッチは可)。その後、合同練習を5分間行い、プロトコールに入る。

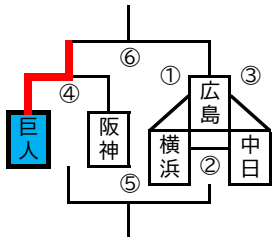
女子予選 A～Lグループ

	主審・副審	線審4名・得点2名・IF2名
①	第2試合の両顧問	第2試合の両チーム(各4名)
②	第1試合の両顧問	第1試合の負けチーム
③	第1・第2試合の勝ち顧問	第1・第2試合の勝ちチーム(各4名)
④	第3試合の両顧問	第3試合の両チーム(各4名)
*連続試合でない場合は、前試合終了後、合同練習を5分間行い、プロトコールに入る。 *連続試合の場合は、前試合がストレートの場合は10分間、フルセットの場合は15分間コートを開ける(コート外でのランニング・ストレッチは可)。その後、合同練習を5分間行い、プロトコールに入る。		

女子予選 M～Pグループ

	主審・副審	線審4名・得点2名・IF2名	
①	*補助役員(線審4名・得点2名・IF2名)を空きチームですべて補う。 *主審・副審は、顧問が行う。顧問が複数人いない場合は、副審を生徒で補う。 *各試合終了後、ストレートは10分間、フルセットは15分間コートを開ける(コート外でランニング・ストレッチは可)。その後、合同練習を5分間行い、プロトコールに入る。		1日目
②			
③			
④	3校リーグの1・2位両顧問	3校リーグの1・2位両チーム(各4名)	2日目
⑤	第4試合の勝ち・3校リーグ1位の顧問	第4試合の勝ち・3校リーグ1位のチーム(各4名)	
⑥	第5試合の両顧問	第5試合の両チーム(各4名)	

(例)



3校リーグの結果
1位 広島
2位 横浜
3位 中日

	主審・副審	線審4名・得点2名・IF2名	
①	中日	中日	1日目
②	広島	広島	
③	横浜	横浜	
④	広島・横浜	広島・横浜(各4名)	2日目
⑤	巨人・広島	巨人・広島(各4名)	
⑥	阪神・横浜	阪神・横浜(各4名)	

令和7年度 京都市秋季新人大会(バレーボール競技) 決勝トーナメント審判の割り振り

男子決勝トーナメント

	主審・副審	線審4名・得点2名・IF2名
①	第2試合の両顧問	第2試合の両チーム(各4名)
②	第1試合の両顧問	第1試合の両チーム(各4名)
③	第1・第2試合の負け顧問	第1・第2試合の負けチーム(各4名)

女子決勝トーナメント(1日目)

	主審・副審	線審4名・得点2名・IF2名
①	シード校の両顧問	シード校の両チーム(各4名)
②	第1試合の両顧問	第1試合の負けチーム
③	第2試合の両顧問	第2試合の負けチーム
④	第3試合の両顧問	第3試合の負けチーム

女子決勝トーナメント(2日目)

	主審・副審	線審4名・得点2名・IF2名
①	第2試合の両顧問	第2試合の両チーム(各4名)
②	第1試合の両顧問	第1試合の両チーム(各4名)
③	第1・第2試合の負け顧問	第1・第2試合の負けチーム(各4名)

男女共通事項

- *連続試合でない場合は、前試合終了後、合同練習を5分間行い、プロトコールに入る。
- *連続試合の場合は、前試合がストレートの場合は10分間、フルセットの場合は15分間コートを開ける(コート外でのランニング・ストレッチは可)。その後、合同練習を5分間行い、プロトコールに入る。
- *最終日のみ、主審・副審は専門部で行う。最終日の補助役員は第1試合は第2試合の両チーム。以降は前試合の負けチームが行う。